



会社説明会 資料



▼はじめに

平成 10 年 9 月、道の駅 富士川楽座を管理運営する会社として、富士川町（当時）は、富士川まちづくり株式会社を第三セクターとして立ち上げました。

その後、平成 11 年 8 月に、道の駅として正式登録がなされ、「道の交わりが、人の交流を生み出す」という基本理念のもと、平成 12 年 3 月にグランドオープンし、平成 31 年 3 月 27 日に開館 19 周年を迎えます。

また富士川楽座を管理・運営する弊社は、開館以来、富士川楽座設置条例にうたわれている…、

一、「市民文化の向上、および生涯学習の振興」、
一、「商業の発展、特産品などの地域情報の発信、および周辺地域との交流促進」という、2つの柱を基本とした各種事業を展開しながら、会社の健全経営・地域の活性化に努めてまいりました。

その結果、世界遺産富士山、富士川の清流、駿河湾、伊豆半島が眺望できる立地や、県道 10 号線と東名高速道路よりアクセスできる恵まれた立地を活かし、年間 350 万人を超えるお客様をお迎えする道の駅へと成長を遂げ、現在では観光動員数として、全国でも有数な施設の一つとなっております。

当館の建設にあたっては、建設省（当時）の平成 7 年度新規事業ハイウェイオアシス構想「SA・PAを活用した地域拠点整備事業」創設が基軸となり、富士川町と日本道路公団が基本協定書を締結したのち、平成 8 年 8 月 8 日建設省道路局長の認可を経て実現いたしました。当時、全国に例のない東名高速道路と一般道が連結された施設として一躍話題となりました。

その後、公共施設として、富士川楽座が位置づけされている点や、第三セクターが管理運営に従事している点を活かしながら、国土交通省・静岡県・富士市・関係団体から協力・賛同を得るなど、民間と行政が一体化した施設化に取り組んで参りました。

現在は、富士市より指定管理者として認可を受け、5ヶ年毎、歩みを進めておりますが、「地域と共に歩む富士川楽座」を所信として、多様な企画施策を行ない「地域貢献」に励んでいる今日です。

● 富士川まちづくり株式会社

富士川楽座を管理運営するために設立された第三セクター（平成 10 年 9 月会社設立）

● 道の駅 富士川楽座

平成 12 年 3 月 27 日にグランドオープン。（平成 30 年 4 月現在 全国 1,145 駅）

▼富士川楽座の沿革

1998年	H10	富士川まちづくり株式会社設立（9月24日）
1999年	H11	道の駅「富士川楽座」登録（8月27日）
2000年	H12	グランドオープン（3月27日）
2004年	H16	来館者 1,000 万人達成
2006年	H18	来館者 2,000 万人達成
2008年	H20	富士市・富士川町合併（11月1日）
2009年	H21	来館者 3,000 万人達成
2010年	H22	富士川スマートインター開通（3月18日）
2011年	H23	来館者 4,000 万人達成
2012年	H24	新東名高速道路が開通（4月14日）
2012年	H24	立体駐車場が完成（4月28日）
2013年	H25	富士山が世界文化遺産に登録（6月26日）
2014年	H26	来館者 5,000 万人達成
2015年	H27	15周年記念（3月27日）
2016年	H28	来館者 5,555 万人達成
2017年	H29	富士川 SA 大観覧車 Fuji Sky View オープン（2月23日）
2017年	H29	来館者 6,000 万人達成
2018年	H30	プラネタリウム・4階フロアリニューアル（7月）
2019年	H31	3月27日に開館 19周年を迎える

▼来館客推移

H12年度	286万人	オープン元年
H22年度	400万人	東名料金 1000 円特需
H23年度	380万人	東名料金 1000 円終了
H24年度	286万人	新東名開通（25%ダウン）
H25年度	324万人	世界遺産特需（113%アップ）
H26年度	333万人	
H27年度	345万人	訪日外国人最多（1,973万人）
H28年度	357万人	観覧車オープン（2/23）
H29年度	357万人	
H30年度		プラネタリウム・4階リニューアル

